

## 令和6年度 第2回 逗子市健康増進・食育推進計画懇話会 概要

日 時：令和7年3月18日（火）午後2時00分～午後3時30分

場 所：逗子市役所5階会議室

出席者（敬称略）：

【市民メンバー】 池田 カツエ、村松 雅、渡邊 喬

【関係団体】 田中 悦生（逗葉地域医療センター）、  
中川 晴美（公益財団法人逗子市スポーツ協会）、  
森谷 紀子（逗子市商工会）、  
上月 康子（鎌倉保健福祉事務所）

【アドバイザー】 駿藤 晶子（神奈川県立保健福祉大学 保健福祉部栄養学科 准教授）

【事務局】 小上馬課長、青山副主幹、山下副主幹（健康係長事務取扱）、角田、竹内、  
武藤、伊藤

議事概要：

### 1 開 会

<事務局より>

- ・本健康増進・食育推進計画は、健康増進法と食育基本法に基づく市町村健康増進計画・食育推進計画。本会では、健康や食育に関する市の取り組みを紹介すると共に、市民・関係団体の取り組みも教えていただくことで、市民・関係団体・庁内関係課の3者が一体となって、市全体で健康増進・食育推進を進めていくことを目的としている。
- ・庁内での取り組みとしては、昨年度から健康や食育に関わる庁内部署の担当者を集めた担当者会議を設置。今年度さらに社会福祉課を加え、9課の担当者を招集してお互いの取り組みを共有し、連携を深めている。本日はその担当者会議での内容を報告すると共に、お集まりいただいた関係団体の取り組みなどを教えていただき、市全体として共有できればと考えている。

### 2 議 題

（1）庁内関係課の取り組みについて

<事務局より>

- ・本計画は「逗子市の健康に関する状況」や「健康・食育状況アンケート」結果などから3つの「今後取り組むテーマ」を設定したが、本計画策定時は「国保健康課の事業」のみを進行管理の対象としており、国保健康課以外の視点は入っていなかった。
- ・計画策定後に新たにアドバイザーとして就任いただいた先生方から、「国保健康課だけでなく、市民や地域の組織・団体、そして庁内でも健康や食育に関わる課が一体となって進めていくことが重要」とご助言いただき、昨年度に市民、地域の組織・団体、庁内

関係課ごとの視点や目標を設定（別紙1参照）。「今後取り組むテーマ」を推進するための「手段」を「大目標」と捉え直し、その目標を達成するために、市民、地域組織・団体、庁内各課の3視点ごとに小目標を設定した。

- ・また、庁内関係課で取り組みを進めるために、昨年度から健康や食育に関係する課の担当者を集めた「担当者会議」を開始。今年度はさらに、認知症対策や重層的な課題を抱える家庭について対応している「社会福祉課」を加えた9課（事務局含め全10課）の担当者が集まる体制とし、各課の取り組みの共有や連携を図っている。
- ・前回も紹介したが、担当者間でチャットグループを作っており、気軽に事業案内や協力依頼などの連絡を取り合い、互いの事業の発展に役立てている。
- ・今年度も2回開催して各課の状況を共有した他、その取り組みが本計画の指標に沿ってどうだったかヒアリングし、自己評価してもらった（別紙2参照）。別紙2は、各課の取り組みの代表的なもの毎に「今後取り組むテーマ」①②③のいずれかに振り分けた。「評価指標」と「評価方法」は、アドバイザーからの助言を受け一部修正した。なお、年度の最終集計が済んでいない課もあるため、今回は「途中報告」。次回5月の懇話会で最終集計や総合評価を記載したものを提示する。各課へのご意見やご要望などがある場合、国保健康課にて該当課へ内容を伝え、取り組みの参考にしてもらう。

## （2）関係組織・団体の取り組みについて

### ＜事務局より＞

- ・本計画は、3つのテーマを、市民、地域組織・団体、庁内関係課の3者が推進することで、市全体として計画を推進することとしているため、本日出席の地域組織・団体について、別紙1の「地域組織・団体」の目標に基づき、取り組んでいることをご教授いただきたい。

### ＜メンバー（関係組織・団体）より＞

#### ＜逗葉地域医療センターより＞

- ・テーマ②が該当。集団健診を実施。受診率は前年と同等か微減傾向で推移している。健診会場で市の保健師・管理栄養士の特定保健指導（初回分割実施）が行われており、引き続き実施して欲しい。年1回健診を受けることで自分の健康状態が分かるので、体重の変化など確認していただくことが重要。健診機関としてしっかり対応し、必要時医療機関への受診勧奨や相談先の提案など役割を果たしていく。
- ・新たな提案として、健診は空腹で受診するため、会場の外にキッチンカーや野菜の直売所などがあると受診率向上につながるのではないかと。また、初回分割実施が行われているが、例えば前回の結果で骨粗鬆症傾向の人が、食事内容などを相談できる場があってもいい。他にも、高血圧傾向の人へ減塩指導など、より細かい介入ができれば、テーマ②・③が実践されるのではないかと。

#### ＜逗子市スポーツ協会より＞

- ・テーマ①が該当。庁内各課の担当者と関わりがあり、つながりも広がっている。
- ・国保健康課の特定保健指導に協力して「シセイカルテ」利用券の提供をしている他、国保健康課イベントデーでの「シセイカルテ」体験、子育て支援課の「パパママ準備クラス」、文化スポーツ課の「スポーツの祭典」、社会福祉課の「太鼓の達人」（認知症予防事業）、中学校の大会などの会場にアリーナを使っていただき、施設を知ってもらって利用を勧めている。結果として、トレーニング室の利用者が 160 人を超える日もあり、混雑によるクレームが発生して、人数制限の希望や時間制限の希望など、新たな課題も出てきた。
- ・うみかぜクラブは年度ごとの更新なので人数の増減あるが、市民との連携も活発である。
- ・スポーツに興味がないとなかなか施設に来ないため、興味がない人にどのように来てもらうかが課題と感じている。

#### 《逗子市商工会より》

- ・商工会女性部として、テーマ②では「爪から自分の健康知ろう」というイベントを実施。テーマ③では、防災に力を入れ、12/14 に炊き出し訓練を行い、豚汁を調理・提供した。国保健康課管理栄養士にも協力いただいた。市とキッチンカー連絡協議会が協定を結んでおり、災害時にかけつけてくれる予定。災害時でも食生活は大切で、単に食料提供するだけでなく、長引く避難生活にあっても心身共に健康に過ごせる力になりたい。
- ・広島・東北・能登等、被災地にスタッフが視察・支援に行った。被災時期による課題や、地形（海側は津波被害等）による課題があり、それに順応して地域システムが機能している所もあって参考になった。商工会館は沼間にあり、発災時に被災リスクが高い。南三陸の地形とよく似ており、商工会が配給の拠点になると想定して準備している。発災時に調達しやすい食材なども検討が必要。災害時の食育も大切で、②③に沿って取り組んでいる。

#### 《鎌倉保健福祉事務所より》

- ・2市1町を管轄している。今年度は新たな県の健康増進計画について、食品衛生責任者講習会や給食施設への個別指導時に伝えた。食育としては、消費者へは栄養成分表示の活用について、事業者へは表示相談時に適正表示を指導する他、食塩の過剰摂取という健康課題があることから減塩等に考慮した食品の提案なども行っている。
- ・また、人材育成という役割もある。後方支援として、若宮会全体の統括や支援の他、逗子市若宮会への支援として社会福祉協議会フレンドリーヘルパーの講習会講師の他、共食の取り組みにも力を入れている。フレイル予防の話を管理栄養士の視点から伝え、高齢者サロンから他の市民への波及効果を狙っている。

#### <メンバーより>

- ・商工会から災害時の食生活の話が出たが、自身も炊き出しの支援をした経験がある。現地に使用可能な調理場がなく、逗子市内で調理・急速冷凍して、現地に運んだ。発災3か月後だったが、そうした状況だった。小坪小学校に学校給食職員が集まり調理。

運送会社がボランティアで配送してくれた。発災時に使用可能な調理室の情報提供があれば良い。大災害に備えて具体的な想定・仕組みづくりを期待したい。

→（メンバー）災害を想定し、家を出る時にまな板・包丁等5点セットで持参参集を呼びかけている。災害時の食料提供の形も変化している。市で備蓄している非常食を、賞味期限が切れる前に市民向けに試食・提供できると防災意識の動機付けとして良いのではないか。期限切れ非常食を業者が買い上げ、発展途上国へ送る流れになりがち。

→（メンバー）キッチンカーは災害時含め有効。集団健診時の案も面白い。災害協定があるのであれば、地区別の防災訓練との連携もできるのではないか。非常食の試食に関しては、庁内の避難訓練時に希望すれば提供があったはず。市はもっとPRを。担当者会議に防災安全課が加わるか分からないが、うまく情報連携できると良い。

#### <メンバーより>

・担当者会議に参加する課はどのように選んでいるのか。テーマ①の観点では、海を見ながら安心して歩ける道路や夜道も安心して歩ける道路、という環境面も重要だと思う。土木や都市整備、まちづくり関連課にも参加してもらってはどうか。国の「健康日本 21（第三次）」や県の「かながわ健康プラン21（第3次）」では、「自然に健康になれる環境づくり」の目標の一つとして「『居心地が良く歩きたくなる』まちなかづくりに取り組む市町村数の増加」が設定されている。

・また、ショッピングモールや公共施設のトイレに体重計を置いている国もある。健康に関心のある層は自宅に体重計があり測定できるが、関心のない層にも意識させる仕組みを作ってはどうか。

→（事務局）担当者会議メンバーは、前の食育推進計画の担当者会議で招集していた課を元にして、健康増進計画と統合するにあたり関連する課を追加した。議題によって他課にもオブザーバー参加など、柔軟に対応を検討したい。公共施設への体重計設置は面白いアイデア。ぜひ保健福祉事務所に後方支援をお願いしたい。

#### <メンバーより>

・担当者会議で「みんなの逗子さんぽ」について情報提供があったか。アプリの使い方が分からないという人の相談を受けたが、相談を受けて初めて取り組みを知った。こういった懇話会の際に、各課のイベント情報や資料なども提供して欲しい。

・また、評価表内に「SNS」と記載があったが、具体的な媒体名を示した方が良い。

→（事務局）「みんなの逗子さんぽ」については聞いていた。懇話会の場で取り組みのちらしなど配架したい。SNSの具体名については、次回反映させる。

#### <メンバーより>

・毎年健診を受けていたが問題なかったため数年間中断していた。久しぶりに健診を受けたところ「要精密検査」となった。結果として問題なかったが、空白期間のデータがないこ

とも影響し、定期受診の重要性を再認識した。

- ・また、うみかぜクラブをはじめ、市の様々な施策の恩恵を受けて健康に過ごしていると感じる。市の料理教室で知り合った仲間をうみかぜクラブに誘ったところ、5人中3人が加入した。共有や相互交流すると良い。逆に、どこにも所属していない人を誘うと断られることが多い。そういう人の誘い方を迷っている。声をかけ続けることが重要ではないだろうか。市も関係団体も良い取り組みをしているので、周知に力を入れてほしい。知識を多くの人が身につけることが重要だと思う。高齢でも外出して元気に過ごす和家人が喜んでくれる。お金を使わなくても外で楽しく過ごせるというPRをして欲しい。
- (事務局)発信力、発信方法など課題に感じている。ご意見を参考に発信していきたい。

#### <メンバーより>

- ・管理栄養士にお願い。健診結果から保健指導対象となっても単発で終わってしまう印象。未病センターに相談に行く時間がない。食事写真は撮れるが、意見してくれる人がいない。3食3日間の写真を撮ると、LINEでコメントやアドバイスがもらえる等したら嬉しい。
- (事務局)オンライン特定保健指導という手段もある。以前、高齢者サロンと未病センターをつなぎ、相談会をやったこともある。
- (アドバイザー)一番手軽なのは、「健康管理」「栄養計算」アプリ。無料のものもある。食事写真をAIが解析して栄養価計算してコメントがもらえる。

#### <メンバーより>

- ・久木小学校コミュニティハウスで行っている「みんなのカフェ」は交流の場になっている。月1回開催、1回50食まで食事を提供する他、学習や読書での利用、セラピー犬が来たりもする。毎月利用者同士が「元気だった?」と言い合える場があるのが良いこと。久木以外にも色々なところがあれば良い。

#### <事務局より>

- ・本日欠席の関係団体からも活動についてご報告いただいているので共有する。
- 《逗子市食生活改善推進団体 若宮会より》(事務局代読)
- ・若宮会では、毎月の定例会にて、「減塩」「フレイル予防」、歯科医師による「オーラルフレイル」など、会員のスキルアップも含めて講義を受け、その後講義に伴ったレシピ作成調理実習をし、健康に留意した食事を作れるように努めた。
- ・市の委託事業として、「男性料理教室」「ヘルスメイト養成講座」の調理実習に関わり、市民の皆さんが健康的な食事を作れるよう、お手伝いや普及活動をしてきた。
- ・「フレイル予防」に関しては、市民の皆さんにもアンケート調査などで、前年度より浸透してきたと感じられるようになった。市主催の「ヘルスメイト養成講座」の受講後には、若宮会への入会者も増え、普及活動のボランティアの担い手が増えている事に、喜ばしく思っている。

《逗子市立中学校長会より》（事務局代読）

- ・逗子市立中学校では、中学校給食を通して、食への関心を高めている。具体的には、新入学の生徒対象に、学校教育課の給食担当職員が講師になり、給食や食育についての講演会をしていただいている。地元の食材を使い、日本の伝統食を大切に献立を考えていることや、身体によい食材についてのお話しをしていただいている。
- ・また、毎日の給食の時に、おたより「給食室からこんにちは」が届くので、給食の時間の校内放送で読み上げている。内容は、食材や献立についてのお話し。
- ・家庭科の授業では、栄養や食事についての知識を得たり、調理実習を通して実践力を高める指導をしている。

### 3 その他

＜アドバイザーより＞

- ・市、関係団体、それぞれ多様な取り組みを知ることができた。この機会があって良かった。
- ・課ごとの自己評価を見ると、控えめな自己評価とを感じるものもあるが、現在の進捗としては良いのではないか。最終的に市民の健康状態に変化が出ると良い。
- ・次回5月の懇話会にて総合評価が示されるということで、楽しみにしている。

＜アドバイザーより＞（欠席のため事務局代読）

- ・資料を拝見し、現在進行中の評価ということで、特に異論なし。各課で評価いただくことは大変有難く、市の取り組みとして一体感を感じる。本来であれば、大きな目標に基づいて、各課の「小目標」が必要かと思うが、それは、今後の取り組みとして。いつも申し上げているが、各課間の連携や話し合いの場を持っていることは、他の自治体に向けても画期的でモデルになる取り組みだと思う。継続していただきたい。

### 4 閉会

＜事務局より＞

- ・市民の皆様、地域組織・団体の皆様の話をうかがい、健康増進・食育推進を進める取り組みについて視野が広がった。今後も庁内関係課との連携を進めつつ、関係団体の皆様においてもテーマ推進に寄与いただき、全市・全庁的に健康増進・食育推進を進めていきたい。
- ・次回の懇話会は、5月29日（木）14：00～（市役所5階会議室）を予定している。  
なお、今回のように3月は決算や卒業式などの予定が重なることもあるため、来年度から3月は避け、年度始めの5月と、次年度の予算要求前の10月（10/3）に開催させていただきたい。

以上